

経営比較分析表（令和6年度決算）

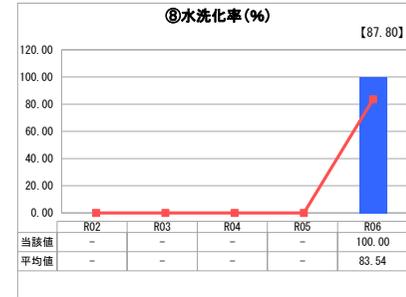
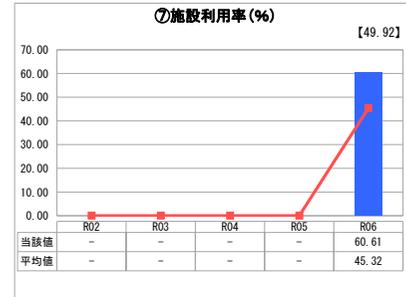
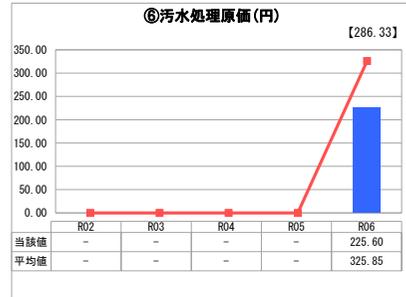
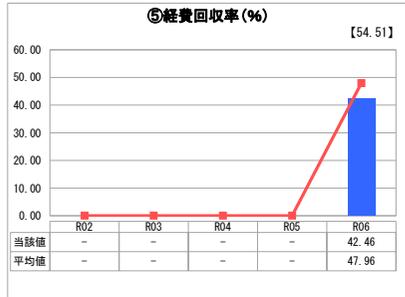
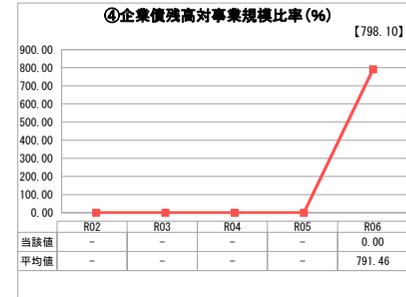
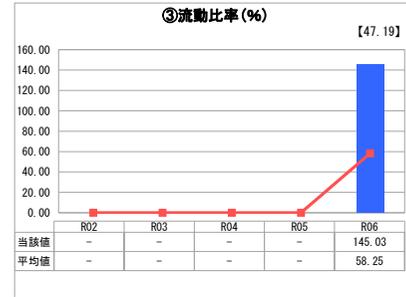
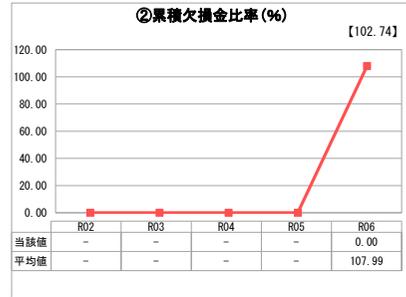
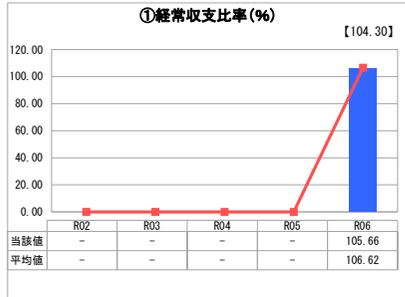
宮崎県 綾町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.16	1.75	100.00	2,920

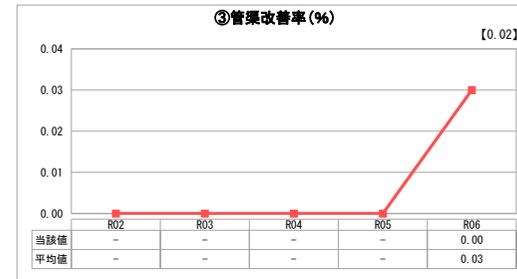
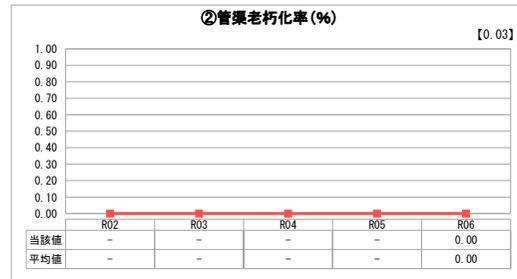
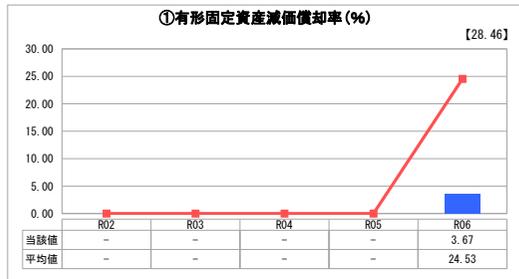
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,785	95.19	71.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
117	0.12	975.00

分析標
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を超えているが、収入の半分以上を占める繰入金によるところが大きく、収支構造を改善して、繰入金を減らすことが課題となる。
- ② 法適用初年度であり、欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は平均を上回っているが、法適用による引継金によるものが大きく、令和6年度で現金を増やしている状況にない。
- ④ 企業債償還金分については、一般会計が全額を負担する取決めがあるため、0となった。
- ⑤ 類似団体平均値とほぼ同じ水準であるが、100%には遠く及ばない。対象範囲が狭く使用者が限定されるなど、当該事業の構造の問題であると捉えている。
- ⑥ 類似団体平均値よりかなり低く抑えられているが、動力費としての電気代高騰を含む物価高騰により、今後は上昇していくことが見込まれている。
- ⑦ 水洗化率は100%であり、かつ人口が減少していく見込みであり、今後の施設利用率の増加が見込める状況にない。

2. 老朽化の状況について

事業開始後29年であり、重要設備については定期更新に努めているが、長寿命化が図れる設備については、インシデントさえ発生しない範囲において、耐用年数経過後も使用している状況。管路については、耐用年数が50年であるが、重大事故が発生しやすい設備でもあるので、点検に努めていく。また、令和6年度に事業計画を策定済みであり、令和7年度に補助事業を活用した大規模更新を行う予定。

全体総括

昨今の物価高騰や本格的な人口減少社会を迎えて、経営環境はますます厳しいものとなっている。今後の区域内人口予想からは、事業継続が危ぶまれる状況にあり、区域内全域を特定地域生活排水処理事業に転換することを含めて、抜本的な事業転換を検討している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。